

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
1	1	広報の手引きの修正と活用	検討していたSNSへの対応はできたのでしょうか？	手引きの改正は未実施です。長岡ソーシャルメディアガイドラインを情報政策課と策定し、この中の基本原則で「男女共同参画」の視点で表現するよう明記しました。	広報課 市民活動推進課(男女)
2	2	メディア・リテラシー(情報読解能力)の学習機会提供	資料図書を利用してもらう工夫が必要。講座等で使ったらよい。	今年度発行予定の情報紙「Booksウィルで見つけた本」において、メディア・リテラシーの特集と関連本の紹介を行い、利用促進を図ります。	市民活動推進課(男女)
3			図書資料の貸し出し実績がなかったことは残念です。		
4	4	中央公民館・教育活動事業	講座でどんな講義をしたのが問題です。共同参画計画で求められている講座なのだから、内容はそれに沿ったものがある必要があります。	<p><親も育つ子育てセミナー> 幼児期コース、児童思春期コースともに、同時期の子育てのコツや悩みを共有できる場として、それぞれ計10回開催しました。幼児期コースについては、子育てに係る父親の役割、子どもと楽しむボディアコミュニケーション、発達心理学の視点から子どもはいかに学ぶか、子どもに潜む美的感性などを取り上げました。児童思春期コースについては、子どもの自立を育てる親とは、社会性を身につけた子どもとは、家庭でのコミュニケーションなどを取り上げました。親子ふれあいコースについては、親子工作教室を2回(木工工作、凧づくり)と、小国地域への探訪ツアーを行いました。</p> <p><趣味の教室> 絵画、焼物、茶道、民踊、書道など、日本の伝統文化に係る13種類の教室を開講しました。(各年間24回開催)。いずれの講座も、各分野の基礎を学ぶ講座として開催しており、作品展や芸能発表会など成果発表の場をつうじて、生きがいつくりを支援しています。なお、平成24年度からは、それまで60歳以上であった年齢制限を撤廃し、誰でも参加できるように改めています。</p> <p><生涯学習推進大学> 地域で講座等の企画運営リーダーを育成するため、「地域づくり」「生涯学習推進」「リーダー研修」「一般教養」を観点として、計15回の講座を開講しました。具体的には、リーダーとなる条件、生涯学習とは、長岡の歴史、先人のまちづくりを取り上げたほか、中越地震に係る施設訪問等を行いました。</p>	中央公民館
5	5	小・中学校の児童生徒への男女共同参画学習	『私たちの道徳』という教科書の中味の検討は？	指導主事を中心に内容について確認、検討しました。男女敬愛等の指導にかかわる資料が、子どもたちの発達段階に即して掲載されています。また、直接書き込めるページもあり、工夫されています。男女共同参画社会の視点は、教科だけでなく、学校行事や特別活動など学校の教育課程全体にわたって持つことが大切です。子どもたちは、様々な機会を通して学習しています。	学校教育課
6			教科としては道徳や社会科の中で教えることになるとは思いますが、各教科内で男女共同参画の視点を持って学習機会をつくってほしいと思います。		

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
7	6	小・中学校の教職員を対象とした男女共同参画を含む人権教育に関する研修	校内研修の内容は？	障がい者問題、同和問題、ワーク・ライフ・バランス、高齢者問題、拉致問題、外国籍住民などです。 男女共同参画社会の実現に向けて、教職員の意識が大切なことは御指摘のとおりです。そこで、これからも男女共同参画を含む人権教育、同和実施の視点に立った研修の実施を各学校に指導してまいります。	学校教育課
8			教職員の意識が大切です。男女共同参画の視点を研修していただきたい。		
9	7	幼児への男女共同参画学習	参加した研修会や講座の内容は？	園内でのスキルアップ研修の一環として、保育の基本や保護者対応、子どもへの言葉かけなどを講義する中で、保育関係職員の意識を高めております。	保育課
10			保育園での取組の継続を願います。結果が見えてくるのは良いことだと思います。		
11	8	幼稚園・保育園の保護者を対象とした男女共同参画の意識啓発	講座は男女共同参画に沿った内容のものでしたか？	幼児家庭教育講座の一環として、保護者への子育てアドバイスや小さい頃からの性教育などの講座を通じて、保護者の意識を高めております。	保育課
12			保護者対象の意識啓発は継続。		
13	9	政策方針決定過程への女性参画割合向上	女性参画の割合が減少しているのはなぜでしょうか？	審議会等に変動があり、相対的に女性の多い審議会が廃止され、男性の多い審議会が新設されたため、結果として女性参画割合が減少となりました。	市民活動推進課(男女)
14			専門分野での女性の人材発掘が必要です。		
15	10	女性職員の管理職登用の推進	庁内での女性登用率を教えてください。	平成27年4月1日現在の女性登用率(係長級以上)は18.3%です。	人事課
16	11	自治会役員への女性の参画促進	配布したパンフレットの効果はありましたか？	町内会長の女性登用については増えておりませんが、パンフレットの配布により市の取り組みは徐々にご理解いただいていると思っておりますので、今後も継続していききたいと思います。	市民窓口サービス課
17			今後も継続して実施してください。		
18	12	コミュニティでの女性の参画促進	今後も継続して実施してください。	今後も引き続き各地区への意識啓発を行います。	市民活動推進課

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
19	13	防災分野での女性の参画促進	避難所運営マニュアルにどのように反映されたのか、マニュアルを見せてください。	・運営主体への女性の参加促進 ・授乳場所や更衣室の設置、物資の配布におけるプライバシーへの配慮 ・性別特有の相談への対応について、マニュアルに反映させました。 (別紙資料 5 - 1参照)	危機管理防災本部
20			今後も継続して実施してください。		
21	14	農業分野での女性の参画促進	参加を促した結果はどのようなものでしたか？	女性の中から農業政策への参画を求める意識が醸成され、平成27年度に長岡で初めて、女性農業委員の誕生につながりました。	農政課
22			女性の6次産業への起業は何件ありましたか。	女性のみで構成するグループ等による新たな起業はありませんでしたが、加工部門で女性が中心的な役割を担っている組織が市の補助事業を活用して新商品の開発等に至った事例が7件あります。	
23	15	事業所などでの女性の参画促進	県のハッピー・パートナー事業は、登録後の登録団体への働きかけやチェックに甘いところがあります。名前だけの制度にしないためには工夫が必要です。	ハッピー・パートナー事業は県の事業であるため、市内企業の取り組みの実態について、随時県と情報共有を行っていきます。市としては、毎年ハッピー・パートナー登録企業パネル展を開催し、積極的に取り組んでいる企業については、各種イベントや就職ガイダンス等で幅広くその取組を周知・PRすることで支援しています。	市民活動推進課(男女) 商業振興課
24	16	活き活き農らいい支援事業	ポロシャツがアグリビジネス創出に役立ったことの証明はできますか？	長岡地域の農村地域生活アドバイザーグループ21名がポロシャツを制作しました。年齢層が50代～70代と比較的高い中で、グループの結束を高めることに役立ちました。消費者交流事業「農園見学ツアー」の実施や「産直オーナー」に新たな産品を加えるなどのアグリビジネス創出につながりました。	農政課
25	17	家族経営協定の締結促進	数値を示してください。	24年度 累計48件(女性47人) 25年度 累計57件(女性55人) 26年度 累計61件(女性59人)	農政課
26			家族経営協定の締結率を教えてください。(24, 25, 26年度ごとに)		
27	18	平日日中の災害発生時のシミュレーション事業	ワークショップの内容は？	平成26年度は押切思川町において実施しました。平日日中(乳児とその母親、高齢者の割合が高まる時間帯)における災害発生を想定した中で、避難支援対象者の洗い出し、具体的な支援方法の検討を行いました。	危機管理防災本部 市民活動推進課(男女)

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
28	19	ながおかヘルシープラン21推進事業	健康課ではどんな催しを何回開催して、参加者は？	別紙にて「ヘルシープランの重点項目に係る事業(健康課実施分)」を報告します。 中でも、以下の3事業を報告します。 ・健康診査事業では平成16年度から女性のための健診日程を設定し女性が受診しやすい工夫しており、年々日数を増加しています。26年度は半日ミニドック13日を女性の日としています。(13日/49日) 平成27年度からは子育て中の母親が受診しやすいように、健診に合わせて保育預かりを始めました。4回 ・青年期の生活習慣病予防として健康づくりに興味を薄く、健診の結果も悪化傾向にある男性の健康を家族ぐるみで考え支えるイベント「家族で守ろうパパの健康」を実施しました・参加者117人(男性54人・女性63人) ・児童館食育プログラム 児童を対象に食育を実施しており19か所474人の参加がありました児童館に通っている子どもとその保護者が対象であり、食を通じて協力し合う姿が見られました。 (別紙資料 5 - 2参照)	健康課
29	20	子宮がん・乳がん検診	子宮がん、乳がん検診の受診率を教えてください。(24, 25, 26年度ごとに)	子宮がん検診の受診率は、平成24年8.9%、25年8.2%、26年6.9%です。乳がん検診の受診率は、24年10.3%、25年10.5%、26年8.7%です。	健康課
30	21	妊娠・出産期における健康支援	受け付けた相談のうちで、特筆すべきものがあつたら可能な限りで報告してください。	・母子手帳交付時、精神面も含めた妊婦の健康状態や近くに支援者が居るか等を確認し、必要なケースには、他機関と連携して妊娠期からの継続的な支援を行っています。事例としては実家等の支援が得られず孤独な環境で子育てしなければならないといった相談や、精神的に問題を抱えている方の相談があります。	子ども家庭課
31	22	思春期・青少年相談	受け付けた相談のうちで、特筆すべきものがあつたら可能な限りで報告してください。	・一人の女子学生(専門学校)からのメールが年間に100件を超えて寄せられた事例がありました。 ・『はぐくみ長岡』という広報紙(青少年育成センターが編集、年2回発行(8月、2月)で、街頭育成活動結果や相談業務実施結果を公表しています。あわせて、プライバシー保護に十分配慮しながら具体的な事例について記載しています。	子ども家庭課
32			相談内容について公表してください。		

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
33	23	青少年育成活動	どんな指導・助言をしたのか、具体的に。	<p>・特に問題行動のない青少年に対して、「今、学校生活で何が楽しい？」などの声かけに始まり、「将来の職業は何をめざしているの?、目標に向かってがんばって!、目標とする職業については、男女は気にしないでいいよ!」、「君の充実した高校生活を期待しているよ!」(私たちは街頭育成活動で君たちを見守っている)など、青少年へ声かけ(指導・助言)を積極的に実施しています。</p> <p>・青少年育成員個々の判断に任せて、街頭育成活動で対応しているのが現状です。今後、全体として男女共同参画の視点を入れた研修会もあってもよいと考えてます。</p>	子ども家庭課
34			青少年育成活動として街頭育成活動が継続されています。これは良いことですが、育成活動に関わる成人(親、地域、教師)対象の研修会で男女共同参画の視点を入れた内容がありますか。今の子どもたちの社会環境(生活・学校・経済など)の背景を学ぶ機会があると、指導・助言にもつながると思います。(活動に関わる人への研修)		
35	24	介護予防事業	参加者の男女比を教えてください。	参加者の男女比は、事業や地域によっても差がありますが、概ね男:女=2:8です。	長寿はつらつ課
36	26	男女の均等な機会と待遇の確保	調査結果を報告してください。	<p>育児休業制度の規定がある企業は62.3%。出産した女性従業員の取得割合は95.0%だが、配偶者が出産した男性従業員の取得割合は0.8%と少数。</p> <p>介護休業制度の規定がある企業は51.4%だが、取得状況は極めて少数。 (詳細は別紙資料 5-3を参照ください)</p>	商業振興課
37			調査実施結果の公表をお願いします。		
38	27	ハラスメント防止セミナー	セミナーの内容と参加者の感想は?	<p>・2/16開催。40社51名が参加しました。</p> <p>・職場のハラスメントの現状や予防と解決方法について理解するため、社労士による「ハラスメント対策と企業の責任」をテーマに事例紹介を交えた講演会を開催しました。</p> <p>・アンケート結果からは、「ハラスメントにより会社が負うリスクを知った」や、「社員の育成の参考にしたい」、「コミュニケーションの大切さを認識した」など、9割の参加者から参考になったとの回答が得られました。</p>	商業振興課

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
39	28	働きやすい職場環境推進事業	セミナーの内容と参加者の感想は？	<p>・9/24、10/22の2回開催。計51社、67名が参加しました。</p> <p>・1回目は、WLB必要性と効果を理解するため、『人材育成におけるワークライフバランスの活用』をテーマとした講演と、市内企業の事例紹介、推進マニュアルの紹介を実施しました。</p> <p>・2回目は、働きやすい職場づくりに向けた取り組みのポイントや具体的に進めていくステップについて、グループワークを交えて実施しました。</p> <p>・アンケートの結果では、「推進するための考え方が分かった」など、9割以上が参考になったと回答しました。</p>	商業振興課
40	29	再就職準備セミナー	セミナーの内容と参加者の感想は？	<p>・10/3、28の2回開催。計65名が参加しました。(うち24名が2回連続参加)</p> <p>・内容は、再就職に向けた課題の抽出と解決のポイント、就職活動のステップ、自分の強みの発見と効果的なPR方法など、事例紹介を交え、講義とグループワークを実施しました。</p> <p>・アンケートの結果では、「具体的な事例紹介や再就職に関する情報が得られた」や「自分の強みを発見できた」、「参加者同士で情報交換ができた」など、9割以上が参考になったとの回答でした。</p>	商業振興課 市民活動推進課(男女)
41	30	コミュニティ推進事業	講座の内容は？	<p>親子レク、絵本の読み聞かせ 簡単クッキング 工作、親子レク 子どもとの遊び、父親同士のつながりが持てるような内容で実施しました。</p>	市民活動推進課

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
42	31	まちなか キャンパス 長岡管理・ 運営事業	各講座にどのように共同参画の視点が反映されているのか、いくつかでも具体例を教えてください。	平成26年では、「意外と人気者！？話題のリケジョとして働く」という女性研究者・技術者の座談会を企画しました。また、女性特有の身体の問題をテーマとした「女に生れてよかった！講座～女性のからのメカニズム&尿漏れ予防と経血コントロール」や子育てに関連した「我が子の能力を引き出そう！マインドマップde子育てコーチング」などの講座を開催しました。 また、子育て中の女性の方が受講しやすくなるよう、6ヵ月から就学前の子どもの無料保育サービスを行っています。	生涯学習文化課
43			参加者の男女比を教えてください(年代も)	受講者の男女比は、平成25年で、男性58.1%、女性41.9%、平成26年で、男性48.7%、女性51.3%です。 年代別では、大きなところで、30代が7.8%から11.6%と増加し、逆に60代、70代が減少しています。 年代別の男女比は集計していません。	
44	32	職員の育児・家事参加に関する意識啓発	家事・育児への参加はこれによってどのように変化しましたか？	職員の家事・育児参加に係る調査等は実施しておりません。参考数値として、平成26年度の職員一人当たりの時間外勤務時間は、一月あたり14.0時間と、前年度に比べて災害、選挙事務や各種法制度改正等が少なかったこともあり、前年度より0.4時間改善されました。なお、従来のノー残業デーに加え、新たに毎月12日を「家事・育児の日」として職員にワークライフバランスの充実と定時退庁を促す取り組みを決定しました(平成27年4月より実施)。	人事課
45			職員の育児・介護休暇取得率を教えてください。(男女比、年代も)	平成26年度の育児休業取得率は、女性100%、男性2.2%でした。また、介護休暇については、女性1人(50歳代)が取得しました。	

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
46	33	ファミリー・サポート・センター事業	催しの内容と実績は？	<p>会員養成講座は、ファミリー・サポート・センター事業のあらましと活動について、子どもの事故と防止対策、調乳と乳幼児の食事、保育の心、子どもの身体の発育と病気、心の発達とその課題、という内容の講座を、年3回実施し、延べ52人の参加申し込みがありました。</p> <p>交流会は、七夕クッキングを行いました。会員以外の参加もあり、20名で軽食とスイーツ作りをしました。</p> <p>研修会は、乳幼児のための救急法をテーマに行い、AEDの使用方法などを学びました。参加者は、28名でした。</p> <p>講座は、明星大学教授の星山 麻木氏を講師にお招きし、支援の必要な子どもたちへの支援方法についてお話をいただきました。参加者は57名でした。</p>	子ども家庭課
47	34	こんにちは赤ちゃん訪問	こんにちは赤ちゃん訪問の効果を教えてください。無戸籍赤ちゃんの対応策を教えてください。	<p>・子育て家庭のさまざまな不安や悩みをお聞きし、必要な子育て情報を提供することで安心して子育てができるよう支援しています。特に気軽に相談できてお母さん同士の交流もある子育ての駅の情報は喜ばれており、乳児家庭の孤立化防止となっています。また赤ちゃん訪問によりさらに支援が必要な場合は関係機関と連携し早めの支援を開始し虐待予防に努めています。</p> <p>・無戸籍赤ちゃんについては、医療機関等からの連絡などにより把握できた方については通常の母子保健の対応をおこなっています。</p>	子ども家庭課
48	35	ブックスタート事業	ブックスタート事業は、読み聞かせをするのがお母さんだけ、ということでは何ら共同参画に資するものにはならないと思います。男性の参加を促す対策はありますか？	<p>赤ちゃん相談会と同時開催のため、お母さんが多くなっていますが、最近ではお父さんの参加も増えてきています。毎回参加者に対して、お父さんが赤ちゃんと楽しく過ごす時間の大切さを伝え、親と子の絆づくりを進めています。また父親が参加しやすい講座を土曜日に開催したり男性保育士の子育て講義を企画したりしています。</p>	子ども家庭課

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
49	37	子育ての駅の運営	数多く開かれた講座や行事の内容は？	講座は、保健師、栄養士など専門的な知識を持つ方を講師として、子育てに必要な知識を提供するために、離乳食や、卒乳に関する講座などを行いました。また、男性の育児参加を促すため、育児協力についての講座やファミリー講座なども実施しました。 行事では、七夕飾りの制作や、クリスマス会など季節に合わせた行事や、手作り絵本の制作、さつまいもの苗植え・収穫、消防署の見学、ちまき作りなど、各駅の特徴を活かした行事を行いました。	子ども家庭課
50	38	親の子育て力をつける親育ち事業	男性への意識啓発はどの程度効果がありましたか？	平成26年度パパママサークルは、妊婦319人、夫298人が参加しています。 パパママサークルに参加した夫からは、「早く赤ちゃんの沐浴をしたくなった。」「赤ちゃんが産まれたら、できるだけ早く家に帰ろうと思う。」「子どもとの時間を多く取りたい。」などの感想があり、子育ての動機づけとなっています。	子ども家庭課
51			パパママサークル参加者の男女比を教えてください。		
52	39	児童クラブの充実	ひだまり児童クラブとはどのようなものですか。	ひだまり児童クラブは、越路小学校区にある児童クラブで、越路児童交流会館内で実施しています。利用定員が100名で、利用者が多いため、平成26年度に分室を越路保健センター内に整備しました。	子ども家庭課
53	41	保育園における育児相談窓口の充実	子育て支援事業での相談内容を教えてください。	こどもの発達状況や離乳食の与え方、入園の申込方法等の相談を受けています。	保育課
54	42	多様なニーズに応じた保育の実施	多様なニーズに是非対応、整備の継続をお願いしたい。	子育て世代のニーズに応じた保育を行いながら、よりきめ細やかな支援を通して子育て環境の充実に努めていきます。	保育課
55	44	在宅介護者への支援の充実	在宅で常時介護者に対するソフト面での支援を充実していただきたい。	現在、在宅介護支援金、介護研修会や認知症高齢者家族やすらぎ支援員の派遣、認知症カフェの設置、生活用具の貸与(たんの吸引器)事業を行っており、今後もさらに支援の充実を図っていくよう検討します。介護研修会では介護者が楽で安全に介護が行えるよう、おむつの当て方と体位変換のコツなどの実技を学んだり、情報交換や交流等を年間24回行いました。	長寿はつらつ課

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
56	48	職場におけるハラスメント相談への対応	相談内容について公表してください。	平成26年度の相談23件の内訳は、抑うつ状態で休職中の方の相談が12件(職場復帰に向けた相談等)、職場の人間関係の相談が8件(上司・部下とのコミュニケーション、社長のパワハラ発言等)、などとなっています。	市民活動推進課(男女)
57	51	相談従事者の研修の充実	相談員の心のケアは重要。継続してください。	相談件数が増加傾向にあり、相談員自身に対する心身のケアは一層重要となると考えていますので、今後も継続して実施してまいります。	市民活動推進課(男女)
58	53	外国籍の方のDV相談への対応	外国籍の方の生活相談(DV)には子どもの虐待も考えられるので、教育面も含めての対応をお願いしたい。	生活(DV)相談を受けた場合は、相談者に子がいるかどうか聴取するとともに、子がDVのために不就学となっている場合は、DVを受けている子の教育環境を守るために、教育委員会や教育機関と連携して、解決に向けた対策をとっていきます。なお、相談者が母語を使って安心して話せるように、相談窓口には、英語・中国語対応のスタッフを常備しています。	国際交流課
59	54	ひとり親支援家庭への支援	自立支援につながるひとり親支援の継続を充実してほしい。子どもの教育支援も合わせての取り組みは検討されていますか？	ひとり親の自立に向けた支援については継続します。H27年度より新たに母子父子自立支援員を雇用し、早期自立に向けて支援を行ないます。H27年度より生活困窮者自立支援法が施行され、ひとり親等を含めた生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援事業を実施します。	生活支援課
60	55	自立支援策の充実			
61	57	高齢者虐待対策関係機関との連携	高齢者に対するDVの内容はどんなものですか？	身体的暴力、暴言や外出の制限などの心理的暴力等、他の年代のDVと大きな違いはありません。高齢者になってから発生するのではなく、若い時からDVだったというケースもあります。	長寿はつらつ課
62	58	障害者相談機関との連携	障がい者に対するDVの内容はどんなものがあっていますか。	・精神障害の妻に対し、夫が暴言・暴力をおこなっている事例が一番多いです。 ・障害者に対するDVと障害者虐待は重なる部分が多いため、関係する機関と役割分担をしながら対応をしています。 ・障害があるとシェルターを利用できない場合が多く、避難場所や見守り体制を障害福祉サービスで対応する場合があります。	福祉課

平成26年度実施状況 質問・回答一覧

質問	事業	事業名	質問・意見	回答	推進課
63	64	男女共同参画に関する調査・研究	ステップハウス訪問の報告をお願いしたい。	<p>平成27年3月21日に男女平等推進センター相談員2名が、DV被害者支援を行う7つの民間団体が共同で運営する東京南部にあるステップハウスを視察しました。</p> <p>施設では、DV被害者に対し住居の提供のほか、自立支援に向けた情報提供、同行支援なども行っています。</p> <p>被害者支援の現場で活動する方々のお話から、ジェンダー問題の根深さや国の対策の必要性などを感じました。</p> <p>また、支援活動を行っている方々と情報交換し、つながりをもつことができたので、今後の被害者支援に役立てていきたいと感じました。</p>	市民活動推進課(男女)